

令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須坂市結婚支援事業「須坂の魅力を知る&みんなで結婚応援プロジェクト」
事業主体 (連絡先)	須坂市 (総務部 政策推進課 Tel026-248-9017)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり (1) 地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,503,536円 (うち支援金: 825,000円)

事業内容

地域全体での結婚支援の機運醸成を図るため、結婚支援希望者・親を対象にセミナーを開催した。また、結婚希望者を対象にセミナーや交流会等を実施した。

- 結婚支援希望者・親のセミナー
5月26日(日) 参加者: 33名
- 婚活セミナー・交流会
6月23日(日) 参加者: 31名
- ヨガ&バーベキュー婚&須坂エクササイズ
8月25日(日) 参加者: 44名
- 米子の滝でトレッキング婚(台風災害により中止)
- スムージー&クッキングコン(新型コロナウイルスにより中止)



【婚活セミナーの様子】

【目標・ねらい】

- ①地域全体で結婚希望者を支援する機運の醸成
- ②婚姻数の増
- ③須坂市の魅力PR

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①結婚を支援したい方・独身者の親を対象にしたセミナーの参加者: 33名
- ②-1 交流会でのカップル成立数: 14組
- ②-2 結婚相談所の新規登録者: 21名(男性10、女性11)
- ④須坂の魅力をPRできた人数(交流イベント参加者計): 75名

※自己評価【C】

【理由】

本事業の目的は、少子化対策推進のための婚姻数増だが、交流会でカップルになっても、なかなか婚姻に結び付かないため、支援方法の工夫や改善が必要である。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業では、結婚支援者及び独身者を集めることに苦慮した。今後は、若い世代で結婚を希望している方が参加してみたいと思える事業を企画するとともに、広報の方法を検討し、出会いの場を創出していきたい。

また、カップル成立になっても婚姻になかなか結び付かないため、個人の意識改革がたいへん重要と考えるが、セミナーに参加した方が多いのが現状である。長野地域連携中枢都市圏の結婚支援事業でセミナーを実施する予定なので、広報をしっかりと行っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなとZOO っとわくわくわんパーク事業
事業主体 (連絡先)	須坂市 須坂市まちづくり推進部臥竜公園管理事務所
事業区分	(1)地域協働の推進
事業タイプ	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
総事業費	3,938,255円 (うち支援金: 3,095,000円)

事業内容

須坂市臥竜公園及び動物園は、美化活動、環境保全、景観整備には多くの市民ボランティアにより支えられており、継続的な事業を実施することにより、多くの市民の皆様が参加できる協働事業や、ふるさと自慢の施設へ主体的・自主的に参加できる事業の充実をはかった。

そのことから、市民の皆様と下記の協働事業を実施し、更なる手作り公園としてのまちづくりを行った。

- 立入り防護柵の補修協働事業
- 樹木管理協働事業
- 記念植樹協働事業
- 動物ガイド冊子作成事業



【動物ガイド冊子作成事業】

【目標・ねらい】

- ① 愛護精神の高揚
- ② 教育・環境の場
- ③ 元気の源
- ④ 広報者

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・植物や動物の愛護精神の高揚が図られた。
- ・命に触れる憩いの場（リクレーション）及び楽しく学ぶ教育、環境教育の場である事の周知が図られた。
- ・約955名の市民ボランティアが参加し地域経済の振興の活性化や、市民の元気の源の増大が図られた。
- ・取り組み参加者が臥竜公園等で何か役立つ行動を行いたいと、ゴミ拾いを率先に行っていただく等、ふるさとを愛し、心豊かでたくましく成長した。
- ・来年度の事業に参加していただくことの確認を頂いた。

※自己評価【A】

【理由】

継続的に事業を実施することにより、臥竜公園をより応援し活性化したいという気持ちの高揚が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加された方から「継続的に応援できる事を行いたい」等事業の継続や新たな事業の要望等がだされ、ふるさとの財産を大切に愛する心の育成を継続的・発展的な取り組みの推進を図っていききたい。そして、地域住民等が主体的・自主的に活動できる場を提供し更なる地域の元気を生み出す地域づくりの推進をはかります。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スザッピーが歩むまちづくり探検隊 ～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～
事業主体 (連絡先)	須坂市 須坂市生涯学習推進センター 電話 026-214-6086
事業区分	地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	590,901 円 (うち支援金: 472,000 円)

事業内容

子どもたちの「まちにあかりを灯して、須坂を明るくしよう」との願いから、ランプシェードの設置場所探し、制作、設置のお願いに歩きました。

スザッピー探検隊Ⅰ 子どもたちを中心にまち歩きを通じてランプシェードを付けたい場所を探しました。お昼に郷土食材を使った箱膳を体験しました。8月4日(日)9時30分～15時30分須坂市内

スザッピー探検隊Ⅱ ランプシェードを制作しました。8月24日(日)13時30分～16時須坂市中央公民館

スザッピー探検隊Ⅲ 子どもたちがランプシェードを持って設置のお願いに歩きました。9月7日(土)13時30分～16時須坂市内



「子どもたちが、率先してランプシェードの設置をお願いしました」

【目標・ねらい】

- ①夏休みの学習提案
- ②子どもが自主性を学び、実践的なアクティブ・ラーニングとなる。
- ③世代間交流と互いを認め合う。
- ④ふるさとへの愛着や誇り
- ⑤地域活性化の啓発

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①まちの中にランプシェードをどこに付けたらきれいかわ、まちを歩きながら子どもの目線でイメージした。
- ②ランプシェードの制作から設置のお願いまで、子どもたちが中心になって進めた。
- ③大人たちと子どもの交流を高校生がつなげてくれた。
- ④高校生が子どもたちのリーダー役、サポーター役となり楽しい雰囲気講座が進められた。
- ⑤子どもたちの「まちにあかりを灯して、須坂を明るくしよう」との願いからランプシェードを52個制作し、47カ所に設置のお願いをした。

※自己評価【 C 】

【理由】
高校生にまちづくりの課題発見、それについての話し合いの場が設けられなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもたちの純粋な思いが地域活性化のアイデアにつながる可能性を感じたのでこれらを大切にしていきたい。

ランプシェードの光の輪を広げる活動を手段として、その先のまちづくりをどう展開して行くかを模索する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成31年度(令和元年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野県～100年後の未来へと繋ぐ】プロジェクト② 大岡をOOOKAとして世界へPRするための事業
事業主体 (連絡先)	NPO法人元気お届け隊 千曲市杭瀬下78番地6
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,014,676 円 (うち支援金: 811,000 円)

事業内容

- 1、【#大岡を世界のOOOKAに】インスタグラムキャンペーン 6月1日～9月29日
 - ・キャンペーンの周知、SBCラジオ番組出演
 - ・受賞写真発表会 10月27日 長野市大岡支所
- 2、銀座NAGANO周知活動イベント
「NAGANOの食を楽しもう」
①4月26日 ②7月28日
- 3、Instagram勉強会
①6月26日 大岡公民館 ②8月7日 大岡温泉
- 4、講演会「農山村の活かし方」
講師 信州せいしゅん村代表 小林一郎氏
8月20日 大岡公民館



【Instagram大賞作品発表会】会

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① Instagramキャンペーンでは大岡地区住民以外にも、のべ200作品以上の投稿写真が得られた。
- ②地域住民自身がInstagramの投稿をするために大岡の良さを再認識、理解し、大切に作る心が生まれた。
- ③Instagram写真の撮影や収穫祭参加のため、大岡地区を訪れる観光客が増えた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

Instagramキャンペーンを来年度も継続し更なる知名度アップを図りたい。

グリーンツーリズムを確立し、一般客、インバウンド観光客を増加させ、雇用や産業を生み、大岡地区と近隣地域に収益が上がる仕組みを構築したい。

【目標・ねらい】

- ① 大岡(OOOKA)の知名度アップ
- ② 地域住民が地域の良さを再認識する。
- ③ 関係・交流人口の増加

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・Instagramキャンペーンで海外の方からもいいねが付きOOOKAをPRできた。
- ・地域外や県外者に大岡地区に対し興味を持ってもらえた。

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スキマ信州プロジェクト
事業主体 (連絡先)	Skima 信州 Mail skima@skima-shinshu.com
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト /
総事業費	979,555 円 (うち支援金 : 783,000 円)

事業内容

①スキマな地域の情報発信講座(全4回)

目的: 地域住民が質の高い発信力を身につけ、長野地域/長野県全体の発信力を高めること。

- ・第1回 「情報発信とは?基本と考え方を学ぶ」
- ・第2回 「取材体験観光ツアー」
- ・第3回 「文章作成実践講座」
- ・第4回 「個人で作れる! 地域メディア運営論」

②フリーマガジン「Skima」発行

目的: Web サイト Skima 信州を閲覧することが少ない地域住民(特に年配層)にも地域のスキマな魅力を発信するため。

内容: 双体道祖神特集、信州の温泉特集、長野市栗田城址、上田市別所線、岡谷市カフェヒルバレー、生坂村山清寺、ほか多数



【スキマな地域の情報発信講座】

【目標・ねらい】

- ①個人が質の高い発信能力を習得
- ②発信者同士のつながり形成
- ③地域の課題解決
- ④新たな視点での観光促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・全4回のSkima講座には通し参加者・スタッフ・学生・一般参加者合わせて70名以上が参加。参加者は伊那広域観光DMO、大町市観光協会、長和町観光協会など行政で観光に携わる人から信州大学、長野大学の大学生まで幅広かった。

・2月に発行したフリーペーパーではSkima信州メンバー以外に5名の方から寄稿していただき多様な地域のアクターが参加して完成した。設置箇所も長野地域を中心に県内外に設置させていただき、特に東京では銀座NAGANOやふるさと回帰支援センターに設置し長野地域への移住者促進に貢献できた。

※自己評価【B】

【理由】

予定していた通りの内容を遂行できた。一方で講座の参加者数やフリーマガジンの内容について伸びしろ・改善点があると感じているためBとした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・2020年度以降はスキマな情報発信に限らずより広く地域の情報を発信することにフォーカスした講座を実施していく予定である。具体的には企業がオウンドメディアを通して行う情報発信、長野県の自治体にフィールドを持ちながら情報発信する人など地域や団体規模に多様性を持たせた講座を実施する予定である。

・フリーマガジン「Skima」は、地域で活躍されている方や専門的な知識を持った方により多く寄稿してもらいたいと考えている。2020年度は1.5倍くらいの規模を想定しており、2019年度以上に長野地域に密着したスキマな特集を組みたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯綱高原ショートムービーコンテスト
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 飯綱高原観光協会 026-239-3185
事業区分	産業振興、その他
事業タイプ	ソフト
総事業費	988,404 円 (うち支援金: 685,000 円)

事業内容

会場: 飯綱高原野外市民ホール (ハイランドホール飯綱)
部門: ジュニア部門 (小中学生)、一般部門
作品: 飯綱高原で撮影した映像 (ワンシーンでも可) を利用したショートムービーでジャンルは問わず、上映時間は10分以内の作品
応募: HP の応募フォームを記入送信の上、映像を収めたDVDかUSBを郵送またはYouTube (限定公開) にアップしてURLをお知らせください。
応募費用: 1作品500円 (ジュニア部門は無料)
※ジュニア部門の応募は保護者の署名捺印が必要です。
応募期間: 平成31年5月1日~8月31日
表彰: 審査・投票により各部門のグランプリを決定
コンテスト入場料: 無料
コンテスト終了後、入賞作品などをHPに掲載

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 応募数、来場者目標には程遠い結果だったが、その分今後のアイデアが多数でた。
- ② さた
- ③ 今後に向けて様々は意見が出てきた
- ④ 自発的にPR動画を作る店舗が現れ、コンテスト当日特別枠を作って上映できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

Jr 部門、一般部門に加え、地元のお店のPR作品部門も加える事でより飯綱高原をアピールできる様になる。そのためにも積極的に「動画作成講座」を開催してまずは地元から作品を集める。

(活動写真)



【コンテスト当日】

【目標・ねらい】

- ① 応募数50作品、来場者300名
- ② 飯綱高原の新たな魅力を発見発信
- ③ 毎年恒例イベントとして年々応募総数や来場者を増加させる
- ④ 飯綱高原で営業している方々を映像にさり気なく入れる事でPRする

※ 自己評価 【C】

【理由】

応募数、来場者は目標に遠く及ばなかったが、コンテスト当日の雰囲気はとても良く、また、会議では今後に向けて様々な建設的な意見が出たのは素晴らしい事だと思う

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の開催
事業主体 (連絡先)	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会 須坂市男女共同参画課 (事務局) TEL026-248-9034
事業区分	子育て支援
事業タイプ	ソフト
総事業費	530,018 円 (うち支援金: 358,000 円)

事業内容

ママの「得意」「経験」を活かした発表の場やママ同士のネットワークづくり、若い女性の活躍の場を広げる等の女性の活躍を支援することと、ママ同士、パパ同士の連携や子育ての悩みを共有、様々な活動団体や子育て支援サービスなどのネットワーク作りで子育てしやすい地域づくりを目的にスマイル・ママ・フェスタ in 須坂を開催しました。

6月1日 10時～15時 須坂市文化会館メセナホール
入場無料

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

子育て世代のママ達が、自らの経験や活動を活かした発表の場を作り、親子でいっしょに楽しみ、交流のできるイベントを開催しました。参加者約 1,500 名。

- ①得意なことや経験をいかしたブースの出展に 28 件、ステージ発表 6 団体
- ②実行委員会には、子育て中の母親を中心に 13 名が参加し、主体的にイベントの企画・運営に携わり、また、参加者同士や出展者同士がつながり、女性活躍の場を広げることができました。
- ③イベントの開催を通して、親同士のつながりや交流をつくることで、安心して子育てできる、子育てしやすい地域づくりを進めることができました。
- ④親子で一緒に参加できる親子ピクスや消防士体験、幅広い世代で参加できる紙芝居の企画イベント、パパも一緒に遊べるプラレール広場や手作りおもちゃなど各コーナー
- ⑤市内の飲食店 14 店出店
- ⑥保育士、保健師等の相談コーナーに 22 件の相談



【当日の会場のようす】

【目標・ねらい】

- ①自らの経験や活動を活かした発表の場の創出
- ②ママ同士の連携、ネットワークづくり
- ③子育てしやすい地域づくり
- ④世代間交流
- ⑤賑わいの創出
- ⑤悩みの共有

※自己評価 【A】

【理由】

- ・目標を上回る集客
- ・実行委員が主体的に企画・運営に携わり、フェスタが成功した。
- ・参加者や出展者同士のつながりが集客につながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「そば文化」による千曲市“繋がり”創生事業
事業主体 (連絡先)	信州千曲「さらしなの里」そば祭り実行委員会 千曲市上山田温泉 2-12-10 信州千曲観光局内 TEL026-261-0300
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	610,185 円 (うち支援金: 0 円)

事業内容

「さらしなの里」の歴史・文化を市民に知ってもらい、「そば文化」を通して、地域間の世代を超えた交流を図り、地域が一体となった事業を展開する。

- ・「地域の世代を超えた交流」
7月23日 千曲市更科地区 明徳寺
参加者 50人
- ・「他事業との連携による食育の推進」
9月28日 千曲市戸倉地区 戸倉創造館
参加者 20人



【 他事業との連携による食育の推進の様子 】

【目標・ねらい】

- ①地域間の世代を超えた交流の造成
- ②地域の一体感の造成
- ③地域協働の推進

事業効果

- ①「地域の世代を超えた交流」
事業は千曲市社会福祉協議会と協働で実施し、地域のそば文化体験を通し、様々な世代との交流を図ることにより、地域の一体感を深めることができた。
- ②「他事業との連携による食育の推進」
NPOと協働で実施し、実行委員が地元の方から手ほどきを受け、講師として体験を実施し食育の推進を図った。
食堂運営側が他団体と協働での事業開催は初の試みとのことであったが、運営側と連携しながらスムーズに開催できたことで、今後の協働の取り組みへの端緒とすることができた。

※自己評価 【 C 】

【理由】

- ・複数の事業が中止となったことにより、当初予定していた事業効果を得ることができなかったため。
- ・子ども食堂や地域での活動を通し、地域協働や地域交流の推進に一定の効果があった。

今後の取り組み

地域住民に「さらしなの里」であるこの地域のよさを再認識していただき、新たな地域の繋がり(学生、地域、世代間交流)を実現し構築するため、引き続き地域の団体と協働で取り組みながらそば文化を通して事業を展開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「ちくま地域未来戦略研究機構」による”まちづくり・ひとづくり”
事業主体 (連絡先)	一般社団法人ちくま未来戦略研究機構 (長野県千曲市桜堂512)
事業区分	8 その他、地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 (1 地域協働の推進に関する事業、3 教育、文化の振興に関する事業、6-ウ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業)
事業タイプ	ソフト / ハード / <input checked="" type="checkbox"/> ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)
総事業費	4,199,181 円 (うち支援金 : 3,218,000 円)

事業内容

自分たちの地域を行政と協働しながらデザインするとともに、地域の「人のネットワーク」によるまちづくり・ひとづくり事業を実施。

- ・ちくま未来戦略サロンの開催～年7回実施
- ・学習支援子どもカフェの開催～夏休み期間12日間
- ・ちくま未来塾の開催 地域活性化テーマの「道の駅」
- ・ちくま検定教材調の調査～第1年次は資料収集
- ・シティプロモーションの実施～ホームページの開設とコミュニティ広報紙4回の発行
- ・活動拠点「ちくま未来ステーション」の設置運営



【新しく発行した市民広報紙】

事業効果

- ・街の未来に対する市民の意見交換や交流が促進され、市民協働のまちづくりの一助となった。
- ・街なかでの居場所づくりを通して、子どもたちのアクティブな行動が助長できた。
- ・ご当地検定実施資料の調査によって、地域の姿を再認識。愛郷心の醸成につながった
- ・市民目線に立った新たな広報紙の発行により、地域の動きを市民に提供。まちづくりへの関心が高まった。
- ・中心市街地内に新たな活動拠点を整備。人生100年時代の多様な学習ニーズに対応するとともに、賑わいの復活に寄与した。

【目標・ねらい】

- ①市民による未来戦略の構築
- ②まちづくり意識の高揚
- ③子どもたちの健全育成
- ④中心市街地の活性化

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・市民のまちづくりへの関心は確実に高まったが、コロナウィルスの影響等もあって、一部事業ができなかった。

今後の取り組み

来年度は3年計画の2年目として確実な事業運営を進める。このため事業主体であるちくま未来戦略研究機構の組織強化(会員拡大)を図り推進体制の強化を図る。

各事業の実施に当たっては、行政や経済団体との共催や協働による実施を進め、参加者の拡大と更なるまちづくり、ひとづくりに取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある